

作成日 2023年9月29日

## 安全データシート

### 1. 化学品および会社情報

化学品の名称	ビニルスルホン酸ナトリウム (25% 水溶液, 約2.3mol/L) Sodium vinylsulfonate (25% in Water, ca. 2.3mol/L)
製品名	ビニルスルホン酸ナトリウム (水溶液)
製品コード	P-016755
SDS整理番号	ZC23031-01
会社名称	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
緊急連絡電話番号	03-3839-5861
推奨用途および使用上の制限	エマルジョン改質剤

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	該当区分なし
健康に対する有害性	
皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2 区分2A
環境に対する有害性	該当区分なし

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

#### GHSラベル要素

##### 絵表示またはシンボル



##### 注意喚起語

##### 警告

##### 危険有害性情報

H315 皮膚刺激  
H319 強い眼刺激

##### 注意書き

##### 【安全対策】

P264 取扱後は手や顔をよく洗うこと。  
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

##### 【応急措置】

P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水や石けんで洗うこと。  
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していく容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

##### 【保管】

なし

##### 【廃棄】

なし

### 3. 組成および成分情報

#### 単一物質・混合物の区別 GHS分類に寄与する成分

混合物  
ビニルスルホン酸ナトリウム、イセチオン酸ナトリウム、硫酸ナトリウム

#### 成分1: 化学名または一般名

ビニルスルホン酸ナトリウム  
Sodium vinylsulfonate

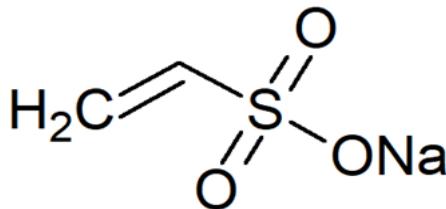
#### 慣用名または別名

エチレンスルホン酸ナトリウム、エチレンスルホン酸ソーダ 他

CAS番号  
分子式（分子量）

3039-83-6  
C<sub>2</sub>H<sub>3</sub>NaO<sub>3</sub>S (130.1)

構造式または示性式



成分および濃度または濃度範囲  
官報公示整理番号

化審法 : (2)-1588  
安衛法 : 公表化学物質

成分2:

化学名または一般名

イセチオン酸ナトリウム  
Sodium isethionate

慣用名または別名

2-ヒドロキシエタンスルホン酸ナトリウム、ナトリウム=2-ヒドロキシエタンスルホナート

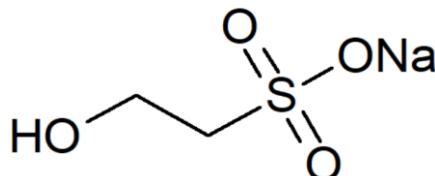
CAS番号

1562-00-1

分子式（分子量）

C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>NaO<sub>4</sub>S (148.12)

構造式または示性式



成分および濃度または濃度範囲  
官報公示整理番号

化審法 : (2)-1646  
安衛法 : 公表化学物質

成分3:

化学名または一般名

硫酸ナトリウム  
Sodium sulfate

慣用名または別名

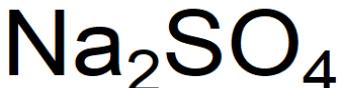
ボウ硝

CAS番号

7757-82-6

分子式（分子量）

Na<sub>2</sub>SO<sub>4</sub> (142.04)



成分および濃度または濃度範囲

1 ~ 2%

官報公示整理番号

化審法 : (1)-501  
安衛法 : 公表化学物質

成分4:

化学名または一般名

水

成分および濃度または濃度範囲

65 ~ 66%

#### 4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師に連絡すること。

ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。

皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。

医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

医師に連絡すること。

眼に入った場合

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合

医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

適切な保護具を着用すること。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、水噴霧、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	火災時、温度上昇などにより急激に重合し、容器が破裂するおそれがある。 安全な場所から消火すること。 燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生するおそれがあるので注意すること。
特有の消火方法	関係者以外は安全な場所に退去させること。 消火作業は風上の安全な地点から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いること。 周辺火災の際は危険でなければ火災区域から容器を移動すること。 容器が熱にさらされているときは、移動させず、散水して容器を冷却すること。
消防活動を行う者の特別な保護具および予防措置	消防作業の際は、必ず保護具を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	個人用保護具を着用すること。 漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させること。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止すること。 十分に換気を行うこと。 環境中に放出しないこと。 乾燥砂、不燃性吸収剤などに吸収させてふた付きの容器に回収すること。 大量の流出には盛土で囲って流出を防止すること。 付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分すること。
環境に対する注意事項 封じ込めおよび浄化の方法および機材	

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	安全取扱注意事项	適切な保護具を着用すること。 取扱いは換気のよい場所で行うこと。 漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させないこと。 皮膚、眼および衣類との接触を避けること。 取扱い後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをすること。
保管	衛生対策	
	混触危険物質 安全な保管条件 安全な容器包装材料	酸化剤 容器を密栓して冷暗所に保管すること。 換気の良い場所で保管すること。 法令の定めるところに従うこと。

## 8. ばく露防止および保護措置

管理濃度	設定されていない。
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	ばく露を防止するため、装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置すること。
	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚および身体の保護具
衛生対策	防毒マスク、簡易防毒マスク等。 保護手袋。 保護眼鏡。状況に応じ保護面。 保護衣。状況に応じ、保護長靴。 取扱い後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをすること。

## 9. 物理的および化学的性質

物理状態	液体
形状	透明
色	ごくうすい黄色～赤みの黄色
臭い	情報なし
融点/凝固点	情報なし
沸点または初留点および沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし

動粘性率	情報なし
溶解度 [水]	混和
[その他の溶剤]	情報なし
n-オクタノール/水分配係数(log値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度および/または相対密度(g/ml)	情報なし
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし

## 10. 安定性および反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	熱、光などの影響や過酸化物などの重合開始剤との接触により重合することがある。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	熱、光。
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素、硫黄酸化物

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	情報なし
	経皮	情報なし
	吸入: ガス	情報なし
	吸入: 蒸気	情報なし
	吸入: 粉じん および ミスト	情報なし
皮膚腐食性/刺激性		情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		情報なし
呼吸器感作性		情報なし
皮膚感作性		情報なし
生殖細胞変異原性		情報なし
発がん性		情報なし
生殖毒性		情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		情報なし
誤えん有害性		情報なし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
魚類	情報なし
甲殻類	情報なし
藻類	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生物蓄積性(BCF)	情報なし
土壤中の移動性	
n-オクタノール・水分配係数	情報なし
土壤吸着係数(Koc)	情報なし
ヘンリー定数(PaM <sup>3</sup> /mol)	情報なし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 廃棄に際しては適切な保護具を着用すること。 廃棄の前に可能な限り無害化、安定化および中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にすること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

国連番号	該当なし
国連分類	国連の分類基準に該当せず。

## その他の注意

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。  
重量物を上積みしないこと。

## 15. 適用法令

適用法令なし

## 16. その他の情報

### 主な参考文献

ウェブサイト "PubChem"(2023/09/28 アクセス)  
安全データシート "Sodium Vinylsulfonate (25% in Water, ca. 2.3mol/L)", 東京化成工業株式会社 2022/03/20 改訂版  
安全データシート Sodium Isethionate", 東京化成工業株式会社 2022/03/19 改訂版  
安全データシート "Sodium Sulfate", 東京化成工業株式会社 2022/03/20 改訂版  
SAFETY DATA SHEET (VINALYST 3525 ), THE DHARAMSI MORARJI CHEMICAL CO. LTD. Revised on 2019/04/01

### 記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2023年9月29日 作成